

世帯と人口

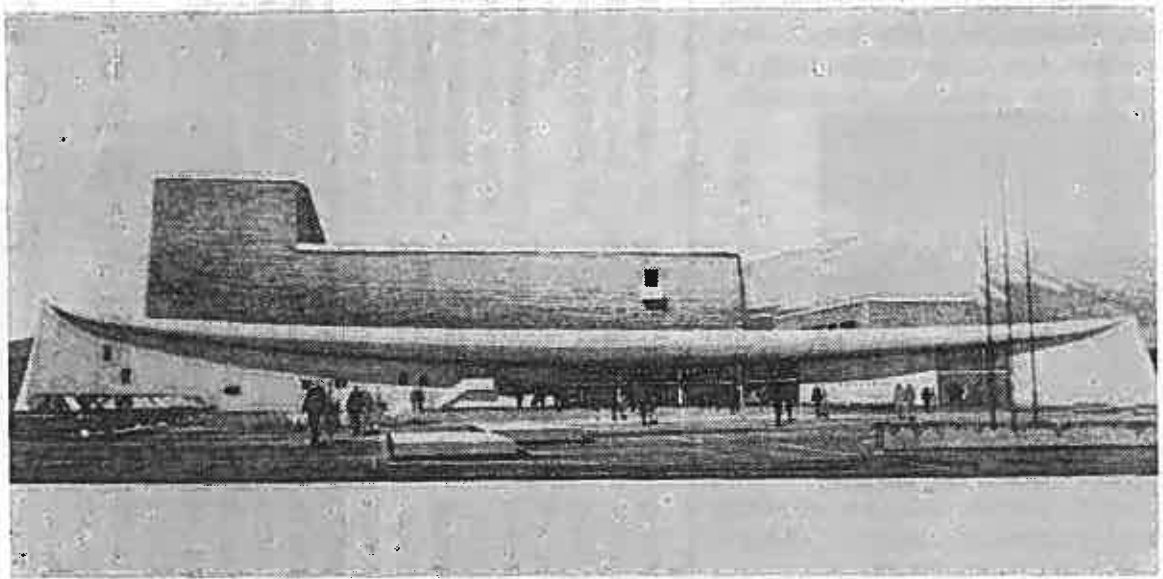
(99.9.1日現在)	
面積	30.55平方軒
人口総数	52,169人
男	26,596人
女	25,573人
世帯数	11,464世帯



広報ふじ

No. 117
10月1日発行
定価1部2円

(写真は市民総合文化センター(市民会館)の模型図)



とじ込んで保存して下さい

待望の市民会館を建設 年内には着工の予定 総事業費2億6400万円

待ちに待った市民総合文化センター(市民会館)の建設が、おそくもこの12月末までには、起工式を行ない一部工事に着手する計画で諸準備を進めています。

市では、本年度春より総合文化センター(市民会館)の建設計画を進めておりましたが、このほど200分の1の模型も出来あがり9月21日開かれた議会特別委員会で検討した結果、本設計を久米建築事務所に発注することに正式に決定、いよいよ市民会館の建設は本格的軌道に乗りました。

この写真のような近代感覚にあふれた市民会館は総事業費2億6,400万円にのぼり現在の市役所広場西側に正面玄関を南側に面し建てられ、総建坪約1,250坪(間口72.98米奥行32.58米)の鉄筋コンクリート地下1階、地上一部9階建の冷暖房つきであります。

地下1階には冷暖房機械室と発電室、変電室、倉庫が設けられ、地上1階には大ホール(固定イス1,000脚)舞台(オースケラビットおよび花道なども備えつける)大集会室、中集会室、監理事務室、食堂、手洗、便所、中庭など2階には小会議室、応接室、結婚式場、写場、化粧室、便所、屋上庭園など、3階には映写室、調光室、控室などで文字どおり市民会館にふさわしい、内外ともデラックスなモダンな建物であります。

さてこの市民会館建設の大きな理由としては、東駿河湾工業整備特別地域の指定を受けた本市は、岳南工業都市の中心地として逐年めざましい発展を続け、更には富士川用水事業の完成、田子浦港の重要港湾の指定を始め、富士駅周辺の都市改造事業、加えて関係都市との大同合併問題など、本市はますます大きく伸展しようとしています。

このときにあたつて今日まで文化施設に恵まれず、一般市民はもちろん青少年、勤労者などが一堂に会話し合う公会堂、集会場のないいわゆる市民会館的施設がなく、ひとり市内小中学校の講堂や体育館などを使つており、地理的にも設備的にも甚だしく不便を感じているのが現状であります。

そこで数年来より市民の文化交流や文化水準の向上の場として市民会館の建設が強く叫ばれ、ようやく昭和39年度重要事業の一つに取上げ、市制10周年の記念事業と銘打つて鋭意、市民総合文化センター(市民会館)建設事業を進めてきたのであります。

なお、財源については、国民年金特別融資による起債(特別地方債)を借入れ、更に市内の大工場からの特別寄附金などをあてることになつております。

市民の皆さんにご利用していただく時期は、昭和41年春ごろになるのではないかと予想されます。